事項	要点					備考
2-1 計画安全率	【確認事項】計画安全率は、大滝地区前面すべり1.15、迫地区下部すべり1.15とする。					
	大滝地区前面すべり、迫地区下部すべりの規模と保全対象は表 2-1 のとおりである。					
	表 2-1 両ブロックの規模と保全対象					
	ブロック	規	規 模 保 全 対 象		土塊量の概算は次式による。	
	大滝地区 前面すべり		幅:約150m、奥行き:約250m、層厚:40~60m 土塊量:約100万m³ 幅:約100m、奥行き:約200m、層厚:35~40m 土塊量:約30万m³		ダム施設	V =L x W x D x x
	迫地区 下部すべり				L : 地すべりプロック奥行 W : 地すべりプロック幅	
	H17 大滝ダム貯水池斜面評価検討委員会時の検討資料より抜粋					中D:地すべリプロック最大層厚:平面積補正率(0.8):断面積補正率(0.5)
	上記より、「貯水池周辺の地すべり調査と対策」p148,149を参考に、計画安全率を大滝地区前面すべり 1 . 1 5 、迫地区下部すべり 1 . 1 5 と定める。 表 2-2 地すべり規模の区分 表 2-3 地すべり対策工の計画安全率					
	中容	a)ダム施設に <i>1</i>	いかわる地すべり			
	ランク	内 容	規模超大	大	中 小	
	小 3万m³未満 中 3万m³以上 4	重要度 	1.10~1.15	1.1	5 ~ 1.20	
	·	り貯水油用流	b)貯水池周辺の施設にかかわる地すべり			_
	大 40万m³以上 20 超大 200万m³以上	重要度	規模超大	大	中小	
			1 10 1 15	1.10~1.20	1.15 ~ 1.20	
		大	1.10 ~ 1.15			• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
		中	1.10~1.15	1.10~1.15	1.10 ~ 1.20	4
				1.10~1.15		_
	凡例 ; 大滝地区前面すべじ	小	1.05~1.15			
	凡例 ; 大滝地区前面すべい 迫地区下部すべり	小	1.05 ~ 1.15 1.05 ~ 1.10			
		中 小 c)その他の貯z	1.05~1.15 1.05~1.10 K池斜面の地すべり	1.09	5 ~ 1.15	
		中 小 の で)その他の貯 重要度	1.05~1.15 1.05~1.10 K池斜面の地すべり 規模 超大	大 大	5 ~ 1.15	